

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	<p>停留精巣の治療方針と予後の検討</p> <p>[倫理審査受付番号：第 4640 号]</p>
研究責任者氏名	野瀬 聡子
研究機関長名	兵庫医科大学長 鈴木 敬一郎
研究期間	2024年2月27日～2024年 6月30日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	疾患名： 停留精巣 / 診療科名等：小児外科、泌尿器科
	受診日：西暦2013年 1 月 1 日～2023年 11月 30日
研究に用いる 試料・情報の種類	試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報 アンケート その他()
	取得の方法： 診療の過程で取得 その他()
研究目的・意義	<p>停留精巣は、小児外科および泌尿器科で治療を行います。診療科によって患者様の背景や治療方針や術式、また経過が異なるのかを検討することを目的としています。それぞれの違いが明らかになり、どのような因子が患者様のQOLに関わるのかが明らかになれば、停留精巣治療の新たな治療戦略につながる可能性があります。</p>
研究の方法	<p>2023年11月30日の時点で停留精巣に対して精巣固定術を行ってから5年を経過した小児を対象に、手術時期、術式およびホルモン療法を含めた治療方針、併存疾患の有無、手術 時間・麻酔時間および術中・術後合併症、再挙上および再手術の有無、術後経過観察期間、術後精巣萎縮の程度について、担当診療科による違いを診療録から検討します。精巣萎縮の評価に関しては、術前および術後経時的に超音波検査画像を使用します。検討結果から、患者様の通院負担、合併症による弊害などから患者様のQOLを評価いたします。</p>

<p>個人情報の 取扱い</p>	<p>収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。</p>
<p>本研究に関する 連絡先</p>	<p>診療科名等：消化器外科学 小児外科 担当者氏名：野瀬 聡子 [電話]（平日 9 時～ 15 時）0798 - 45 - 6221（小児科外来） （上記時間以外） 0798 - 45 - 6111（病院代表）</p>